

派遣先           インドネシア・バンドン工科大学 (ITB)  
 派遣期間       2015年8月24日(月)~9月5日(土)  
 学生ユニット   ユニット K,L (計8名) (教育学部1名, 教育学研究科1名,  
                   法政経学部1名, 工学部2名, 工学研究科2名, 融合科学研究科1名)  
 実習先高校     SMA BPK Holis, SMAN 1 Bandung  
 滞在先         Hotel Wisma Dago (HP なし) (平日1泊朝食付き Rp.350,000/室)  
 引率教員       大寫竜午

### 主な活動【第一週目】

8月24日(月) ITB の学生がバスで迎えに来てくれ, 宿へ向かう。17:30 空港出発, 途中サービスエリアで夕食を食べ, 22:45 時にホテルに到着。

8月25日(火) バンバン先生, イボーン先生, ITB 学生, そして実習先高校の先生を交えて, オープニング・ミーティングを開催。学生の授業計画にコメントをもらう。

8月26日(水) 実習校2校を視察し, 教室や実験器具を確認。SMA BPK Holis では, 盛大な歓迎会を行っていただいた。移動の際には, デモのため大渋滞に遭う。

8月27日(木) SMA BPK Holis にて第一回目授業。当初の予定では, 25名ということであったが, どちらも50名近い生徒が受講した。午後には, 集会が行われ, 急遽, 学生によるパフォーマンスと生徒による質問タイムがとられた。

8月28日(金) 第二回目授業。両ユニット共に前日の授業から改善されたものの, まだスムーズな進行とは言えない。午後には, SMA BPK Holis 主催の昼食会を開いてくださった。



SMA BPK Holis での歓迎会で挨拶



授業 (野菜抽出液の UV ライトによる蛍光現象)

### [第一週目総括]

両ユニットともおとなしい学生が多いが, チームワーク良く活動が行われている。ITB と実

習先の歓迎ぶりに感動している様子が覗えた。その歓迎に応えようと授業改善等に取り組んでいる。SMA BPK Holis にて急遽学生にパフォーマンスを依頼され、学生は当初戸惑っていたが、10分程度で準備をし、歌と踊りで場を盛り上げた。また、生徒による質問コーナーでは、英語が苦手と言いながら丁寧に答える学生の姿を見ることができ、生徒および教員ともに大変喜んでいただいた。

学校への移動は SMA BPK Holis の公用車を使わせていただくなど、サポート体制が万全である。また、ITB の学生が常に引率してくれ、スムーズにプログラムが進行している。特に、食事には気を遣ってくれ、日本人学生がお腹を壊さないよう、慎重にお店選びをしてくれている。

ホテルは、イボン先生に予約していただき、各部屋一泊分の料金をデポジットとして建て替えていただいていた。シャワーの温度が下がる場合があること、モスクからのお祈りの音が大きいということはあるが、学生からは好評である。

## 主な活動【第二週目】

8月31日（月）授業準備

9月1日（火）SMA 1 Bandung にて第一回目授業。先週の授業よりもだいぶ改善されており、話し方もスムーズになり、聞きやすくなった。学生の様子にも自信が伺える。SMA 1 の生徒は学生の授業を楽しんでくれたようで、感謝の言葉述べていた生徒が多かった。

9月2日（水）SMA 1 Bandung にて第二回目授業。最後の授業ということで、学生は良い意味で非常に緊張していたようであった。これまでの授業でもっとも自然な形で生徒たちの反応を得ることができ、学生等も満足したようであった。



9月3日（木）ファイナルプレゼンテーション準備日

9月4日（金）ITB 教員・学生、実習校の先生及び生徒が集まり、ITB にてファイナルプレゼンテーションが行われた。学生は緊張した面持ちであったが、プレゼンは十分に準備されてお

り、良いものであった。最後にランチを提供してもらい、交流を深めた。15時、バスにてホテルを出発した。

#### [全体総括]

第2週目に入ったところで、学生には少し疲れが見られたが、大きな病気をすることもなく、チームワーク良く2週間の活動を終えることができた。人前で英語を話す能力が向上したのに伴い、自分自身に対する自信が付いたようであった。バンドンにある西ジャワ地区の文部省や高校教員からは、教員研修プログラムや高校生のエクスチェンジプログラムに対する大きな期待が寄せられた。

